

はっとい農園通信

Vol.18

8月号

発行日・令和元年8月10日

発行元・服部農園有限会社

編集長・女将さん/服部都史子

米農家っぽいお話し

6月26日。無事に今年の田植えを終えて令和元年産は95%の米づくりが始まりました。夏の米農家はひたすら畔の草刈りと、水管理の日々が続きます。7月には一週間程度「中干し(なかぼし)」といって、田んぼの水を切り、土にヒビが入るくらい田んぼを干上がらせる作業を行います。これは稲の分けつ(分かれて株が太くなること)をくい止め、水を切ることで根の張りを良くする工程で、土の中のガス抜きも同時に行います。根を強く張らせることで、この後に穂が出て頭が重く垂れても耐えられるように稲は自分で準備をしているのです。

今年の中干し時期と長引く梅雨が並行して田んぼが乾きませんでした。そのため中干し期間を延長。中干しが長引くと田んぼの土が日光に当たり雑草が生えます。今年の夏も草との闘いはまだまだ続くようです。写真は稲の出穂。白い髭のようなものは稲の花です。犬のお散歩をしているみたいに草刈りできるマシンは「スパイダーモア」



遠足にいったよ

8月6日、農園メンバー&お店メンバー&その子どもたち全員で遠足に出かけました！大人20人、小学生2人、幼児4人。みんなで楽しめる所は…??と考えると、豊田市稲生へ。「ブルーベリーのこみち」で旬のブルーベリーがり体験。大粒のブルーベリーを5、6個いっぺんに口に入れて贅沢に味わうのは格別。「あま〜い！」「デカ〜い！」「猿の気持ちがわかる〜」などなど。大騒ぎしながらお腹いっぱいブルーベリーを食べたはず…なのに…。こみち直営のケーキ屋さん、マコの店で「これは別腹」とクレープを食べる人、続出！ブルーベリーを堪能しまくった後はすぐ近くの「岡田養魚場」へ。つかみ取りしたアマゴやイワナを串打ちしてもらい炭火焼きにしてかぶりつき！涼しい川風に吹かれての川遊びとバーベキューは最高でした。



お陰様で 20 周年

令和元年5月6日をもちまして、服部農園有限会社は法人化 20 周年を迎えました。

この 20 年間、両親と共に農園を支え、苦楽を共に歩いてくれた人がもう一人。それは大将こと服部農園の代表で女将の夫である忠さんです。大将は今年で勤続 24 年目となりますが、ひょんなきっかけから農業の世界へ飛び込むことになりました。

服部家には娘が二人。年頃になった娘達には「彼氏は田植えを手伝うこと」という鉄の掟があったのです。夫婦二人では繁忙期を乗り切れない規模になっていた我が家は娘の彼氏も貴重な戦力だったのですね(笑)。父が病に倒れた平成 6 年。その時、次女(女将さん)とお付き合いしていたのが忠さん！

農業とは全く無縁の家庭で育ち、まさか自分が農家になるなんて夢にも思わなかったことでしょう。当時、彼は 22 歳。ちょっとお手伝いするつもりが、ガッツリ頼られるハメになったのです…。そんな何も知らない若者を支えてくれた人たちがいてくれました。同世代の農業青年、農家のみなさん、ご近所さん、田んぼで出会うおじいちゃん、おばあちゃん、農協さん、町の農政課のみなさん。忠さんの 20 年間も周りの方に支えられ感謝の想いでいっぱいです。



こんにちは赤ちゃん

8月2日、勤続8年で野菜&苗部門主任、農園の筋肉番長こと林くんに女の子が誕生しました！林家にとって二人目のお子さんで、1人目が産まれた時は赤ちゃんを抱っこする姿がぎこちなかった彼ですが、2人目を抱っこする姿はすっかり頼もしいお父さんの風格。おめでとう！

藍月(あづき)ちゃん

3290g



編集日記

ラジオで「人生時計」という話をしていました。自分の人生を一日に置き換えると、今の自分は何時か？ということ。単純に今の年齢を3で割った数字が時間となる。20歳なら午前6時半、30歳は午前10時。人生時計の午前中(35歳)には午後の生き方を決めておきたいところかな…。

私は今年で47歳になる。 $47 \div 3 = 15.6666\dots$

私は今、午後3時半ぐらいか。

人生時計方式ならば72歳=24時で一日が終わる。

73歳からは新たな一日が始まるということかな。

農園の就業時間は午前8時から午後5時半まで。人生時計ならば52歳までにやるべき仕事を終えておきたい。あと5年か…。人生時計の午後7時には大将と二人晩酌でもしながらその後の時間を楽しみたいな。あと5年、やることは山ほどある。

(女将より)

【私たちのミッション】 10年後、100年後、この町にこの景色を残したい

私達は環境に配慮した循環型農業への取組みと、次世代を担う農業者の育成に力を入れている農園です。

服部農園有限会社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 3-158

TEL:0587-81-6688 / FAX:0587-50-5767 / Facebook 毎日更新中/http://www.hattorinouen.com

このお便りは服部農園でお米を買って下さっている方、農地のご地主様を含め、ご縁のある方に発行しております。「次回からは不要だよ」という方はお手数ですが、メールかFAXにてお名前をご記入の上、ご一報願います。